

## 中央環境審議会自然環境部会温泉小委員会（第6回）議事要旨（案）

1. 日 時 平成 18 年 12 月 27 日（水）13:00～14:50

2. 場 所 東海大学校友会館「富士の間」（霞ヶ関ビル33階）

## 3. 出席者

（委員長） 熊谷 洋一

（委員）	石川 理夫	板寺 一洋	大野 英市
	岡島 成行	岡部 昭典	川名 英子
	甘露寺泰雄	桑野 和泉	小原 健史
	田中 正	津上 俊治	原田 純孝
	森戸 哲		

## 4. 議 事

（1）温泉資源の保護対策及び温泉の成分に係る情報提供の在り方等について

- ・事務局より、報告書（素案）について説明。また、報告書（案）については、パブリックコメントにより意見募集を行う予定である旨、説明。

《以下、報告書（素案）に対し各委員より出された意見の概要》

（温泉資源の保護対策）

- ・温泉は地域の水循環の中でのみ利用できる限りある資源である旨を加筆すべき。
- ・自治事務について表現をわかりやすくすべき。
- ・未利用源泉についての実態把握調査の実施について加筆すべき。
- ・温泉の共同管理について、必要かつ有効な場合には導入することが望ましい旨、加筆すべき。

（温泉の成分等に係る情報提供）

- ・事業者の自主的な情報提供については、更なる周知が必要である旨、修正すべきである。

（魅力ある温泉地づくり）

- ・温泉地において有毒性のガスに関する危険の周知を図ることに留意すべきであるという旨を加筆すべき。

- ・食と健康を組み合わせた温泉地づくりについても加筆すべき。
- ・入湯税を温泉資源の保護対策及び観光振興の推進に重点的に活用することが望ましい旨加筆すべき。

## (2) その他

- ・次回委員会では、パブリックコメントへの対応(案)を含め、温泉小委員会報告書のとりまとめについて審議することとなった。